The Specialist in Filtration
YAMASHIN

東証プライム市場

6240

2027年3月期 第2四半期

Fly to the next stage!

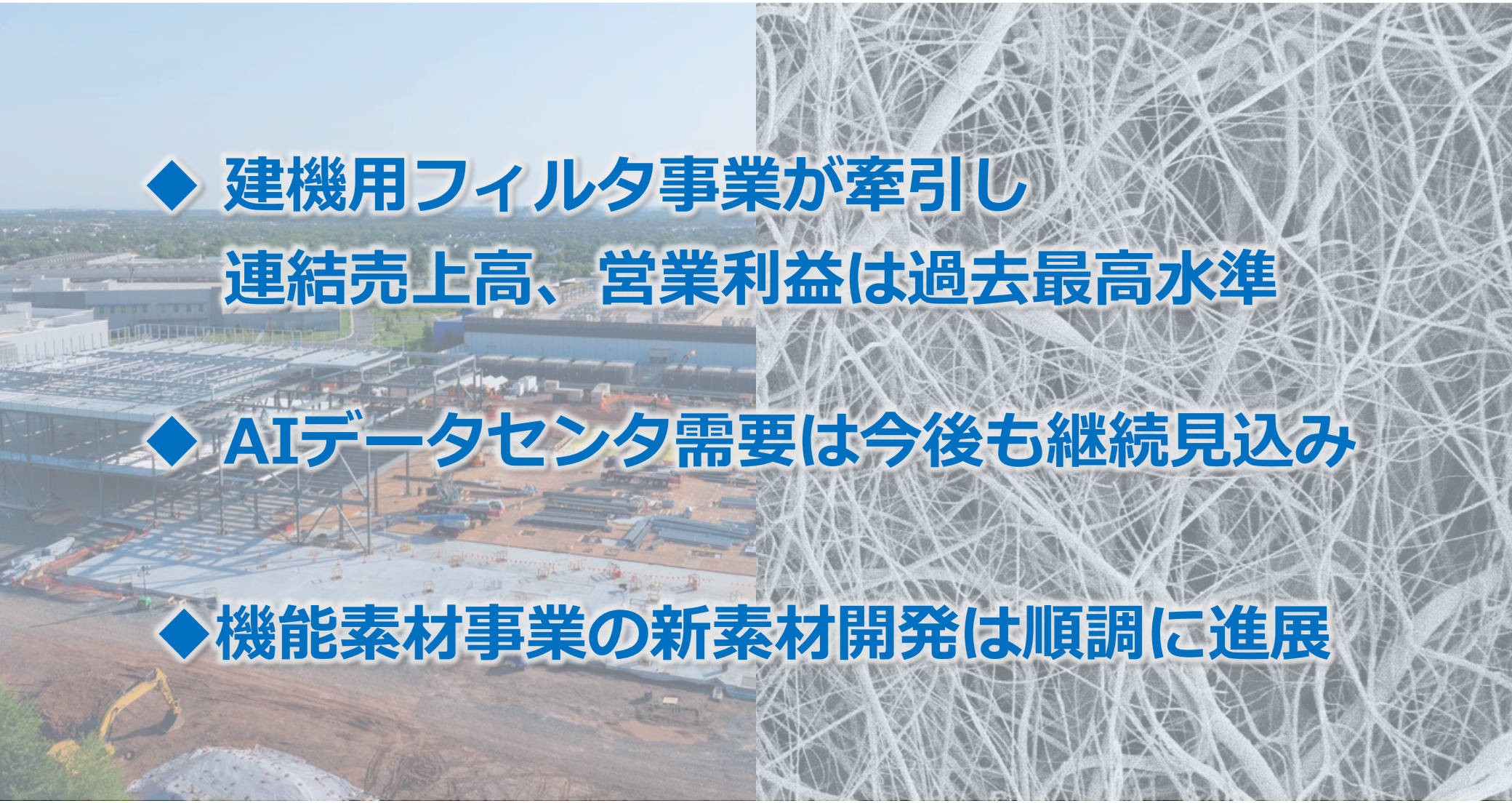
決算説明資料

ヤマシンフィルタ株式会社
2026年11月20日



2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年3月期 第2四半期　ヤマシンフィルタ決算発表



◆ 建機用フィルタ事業が牽引し
連結売上高、営業利益は過去最高水準

◆ AIデータセンタ需要は今後も継続見込み

◆機能素材事業の新素材開発は順調に進展

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

The Specialist in Filtration
YAMASHIN

エグゼクティブサマリー

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

業績ハイライト（連結）

建機用フィルタ事業が牽引し
連結売上高、営業利益は過去最高水準

2027年3月期　第２四半期累計実績

連結売上高	112億82百万円	前年同期比：+9.7%
営業利益	13億38百万円	前年同期比：△2.5%
EPS	14.27円	前年同期実績：12.99円

2027年3月期　通期見通し（期初予算から変更なし）

連結売上高	225億60百万円	前期比：+7.7%
営業利益	28億25百万円	前期比：+9.0%
EPS	28.71円	前期実績：24.62円

ROIC		WACC		MAVY'S	
8.0%	前期実績：7.2%	7.6%	前期実績：7.9%	0.4%	前期実績：△0.7%

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

業績ハイライト（建機用フィルタ事業）

建機市場は旺盛な新車需要を背景に堅調に推移
中期経営計画のシェア拡大、高付加価値製品の導入戦略は着実に進展

2027年3月期　第２四半期累計実績

連結売上高	100億97百万円	前年同期比：+9.7%
営業利益	15億63百万円	前年同期比：6.2%

- 四半期売上高、営業利益は過去最高を更新
- AI需要により北米市場が好調

2027年3月期　通期見通し（期初予算から変更なし）

連結売上高	202億00百万円	前期比：+8.3%
営業利益	31億90百万円	前期比：+17.6%

- 北米市場シェア25.2%
  （中計2028/3月期見通し比較+1.7%）
- 高付加価値製品比率28%
  （中計2027/3月期見通し比較+12%）

ROIC	WACC	MAVY'S
10.4%　前期実績：9.6%	7.6%　前期実績：7.9%	2.9%　前期実績：1.7%

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

業績ハイライト（エアフィルタ事業）

システム導入に伴う混乱は収束
増収基調に転じ、直販体制の強化による収益改善を実施

2027年3月期　第２四半期累計実績

連結売上高	１１億８４百万円 前年同期比：＋9.1%
営業利益	△２６百万円 前年同期比：+74百万円

- 前年同期比で営業損失が縮小
- 受注は回復し増収基調

2027年3月期　通期見通し（期初予算から変更なし）

連結売上高	２３億３０百万円 前期比：＋1.9%
営業利益	５百万円 前期比：+125百万円

- 価格改定、直販体制強化により通期で黒字化を目指す

ROIC	WACC	MAVY'S
0.3%　前期実績：△5.4%	7.6%　前期実績：7.9%	△7.3%　前期実績：△13.3%

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

業績ハイライト（機能素材事業）

先行投資フェーズが継続する一方、アパレル向け製品供給を開始
外部との提携により
ライフサイエンス、産業資材の供給開始に向けた取り組みが進展

2027年3月期　第２四半期累計実績

連結売上高	0 百 万 円	前年同期比：ー
営業利益	△1億98百万円	前年同期比：ー

- 国内高級ブランド2社にて販売開始、現時点でほぼ完売。他1社からも販売予定

2027年3月期　通期見通し（期初予算から変更なし）

連結売上高	30 百 万 円	前年同期比：ー
営業利益	△3億70百万円	前年同期比：ー

- 信州大学との共同研究、ミツフジ社との製品開発が進行中

ROIC		WACC		MAVY'S	
-	前期比：ー	7.6%	前期実績：7.9%	-	前期比：ー

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期実績

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期実績（2026/7-9）
PLセグメント別（連結、建機、エア、機能素材）

- 建機用フィルタ事業の四半期売上高、営業利益は過去最高を更新
- エアフィルタ事業はシステム導入に伴う混乱は収束、直販体制の確立により通期黒字化を目指す

		2026/3期 Q2 実績	2027/3期 Q2 実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
売上高		5,193	5,877	683	13.2%
	建機用フィルタ※	4,647	5,247	600	12.9%
	エアフィルタ	546	629	83	15.2%
	機能素材	–	0	0	–
営業利益（セグメント利益）		712	851	139	19.5%
	建機用フィルタ※	733	960	227	31.0%
	エアフィルタ	△20	△1	19	–
	機能素材	–	△107	△107	–
営業利益率		**13.7%**	**14.5%**	0.8**Pt**	
経常利益		702	848	145	20.7%
経常利益率		**13.5%**	**14.4%**	0.9**Pt**	
四半期純利益		492	651	159	32.4%
四半期純利益率		**9.5%**	**11.1%**	**1.6Pt**	
為替レート（円）（期中平均値）	USD	146.0	159.4	13.3	9.1%
	EUR	168.1	184.4	16.3	9.7%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期実績（2026/7-9）
売上高（製品別）

- 北米におけるAIデータセンタ需要が牽引し、ライン品、補給品ともに売上高は大きく伸長
- エアフィルタ事業の受注は回復傾向、直販体制の確立により更なる販売拡大を図る

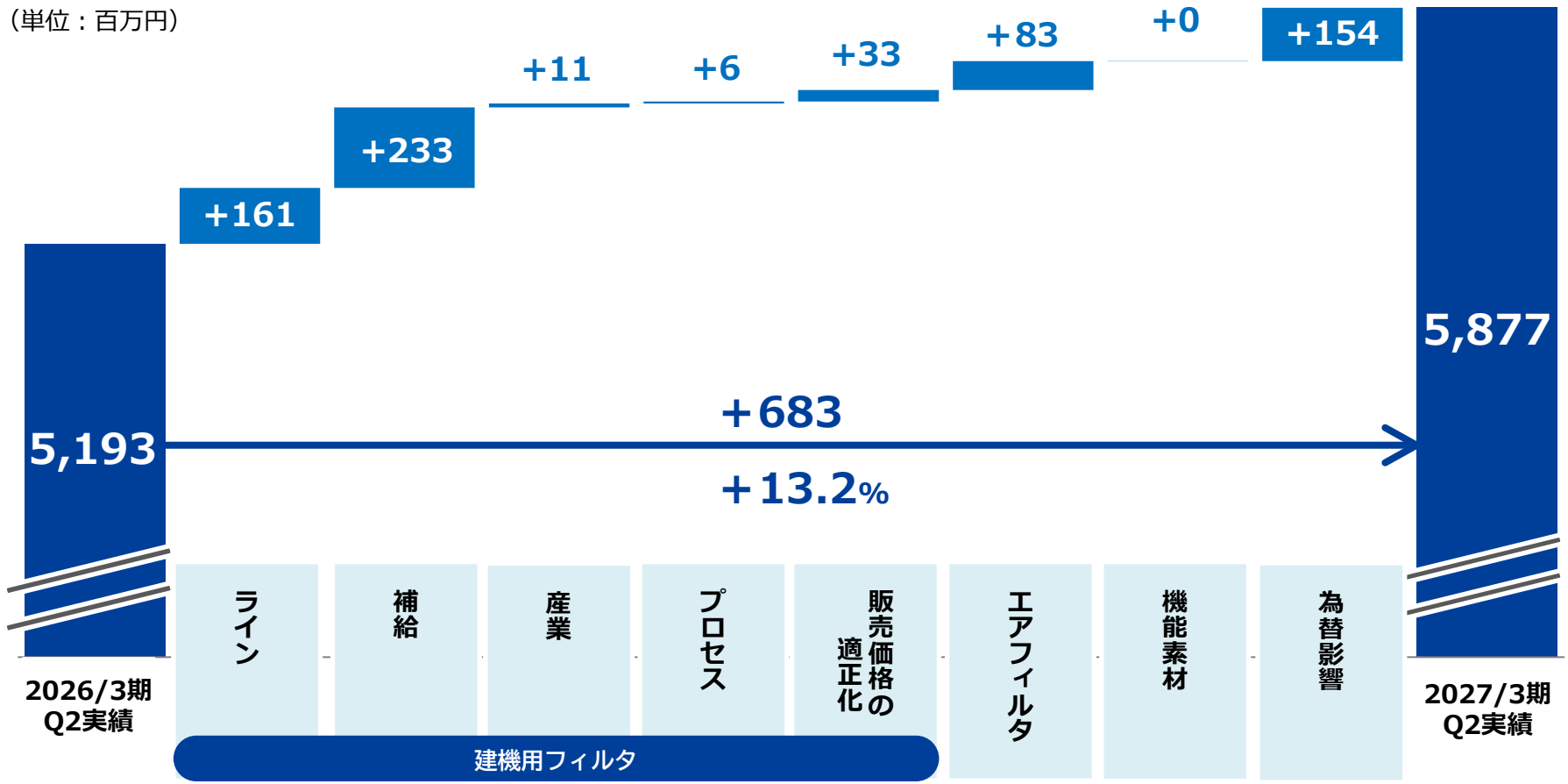
■ 製品別売上高

		2026/3期 Q2 実績	2027/3期 Q2 実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ		4,277	4,849	571	13.4%
	ライン品	1,686	1,936	249	14.8%
	補給品	2,591	2,913	321	12.4%
産業用フィルタ		196	210	13	7.0%
プロセス用フィルタ		172	187	14	8.4%
建機用フィルタ 合計		4,647	5,247	600	12.9%
エアフィルタ		546	629	83	15.2%
機能素材		–	0	0	–
売上高合計		5,193	5,877	683	13.2%

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期実績（2026/7-9）
売上高増減グラフ（前年同期比）

- 建機用フィルタ事業における新車需要は堅調に推移、補給品需要も回復により大幅な増収
- エアフィルタ事業の受注は回復傾向、直販体制の確立により販売拡大を図る

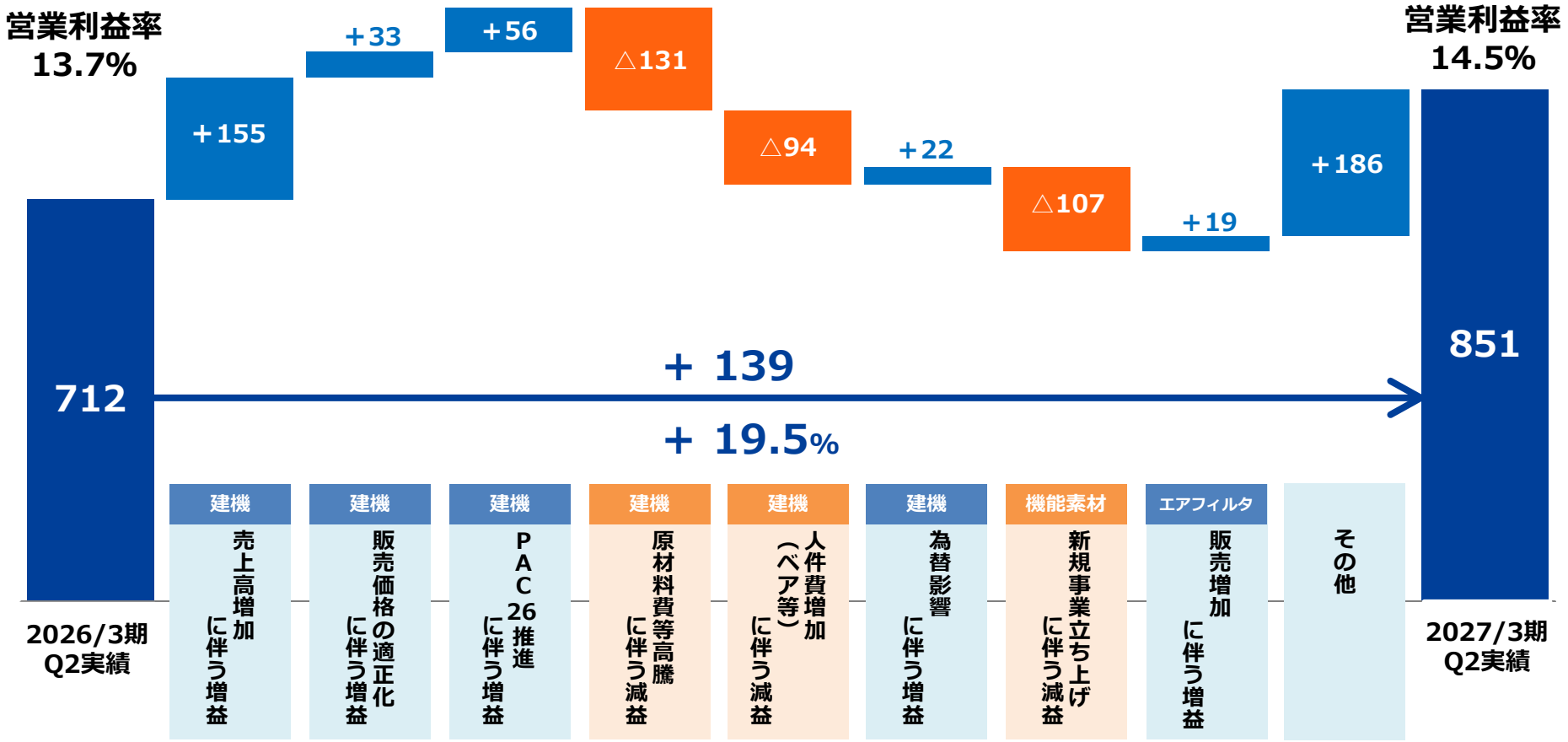


2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期実績（2026/7-9）
営業利益増減グラフ（前年同期比）

- 中東情勢を背景にした原材料価格の高騰影響が想定を上回る水準で推移
- 建機用フィルタ事業におけるシェア拡大、高付加価値製品の導入戦略による販売数量増加により過去最高の営業利益を達成

（単位：百万円）



2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期累計実績
（2026年４月－９月）

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期累計実績（2026/4-9）
PLセグメント別（連結、建機、エア、機能素材）

- 建機用フィルタ事業の売上高、営業利益は過去最高を更新
- エアフィルタ事業はシステム導入に伴う混乱は収束し収益性は改善、直販体制の確立によりさらなる基盤強化を図る

		2026/3期 Q2 累計実績	2027/3期 Q2 累計実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
売上高		10,289	11,282	993	9.7%
	建機用フィルタ※	9,203	10,097	894	9.7%
	エアフィルタ	1,086	1,184	98	9.1%
	機能素材	–	0	0	–
営業利益（セグメント利益）		1,371	1,338	△33	△2.5%
	建機用フィルタ※	1,473	1,563	90	6.2%
	エアフィルタ	△101	△26	74	–
	機能素材	–	△198	△198	–
営業利益率		**13.3%**	**11.9%**	△1.5**Pt**	
経常利益		1,350	1,328	△21	△1.6%
経常利益率		**13.1%**	**11.8%**	△1.3**Pt**	
四半期純利益		909	988	79	8.7%
四半期純利益率		**8.8%**	**8.8%**	△**0.1Pt**	
為替レート（円）（期中平均値）	USD	146.0	159.4	13.3	9.1%
	EUR	168.1	184.4	16.3	9.7%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期累計実績（2026/4-9）
売上高（製品別）

- 北米におけるAIデータセンタ需要が牽引し、ライン品、補給品ともに売上高は大きく伸長
- エアフィルタ事業の受注は回復傾向、直販体制の確立により更なる販売拡大を図る

■ 製品別売上高

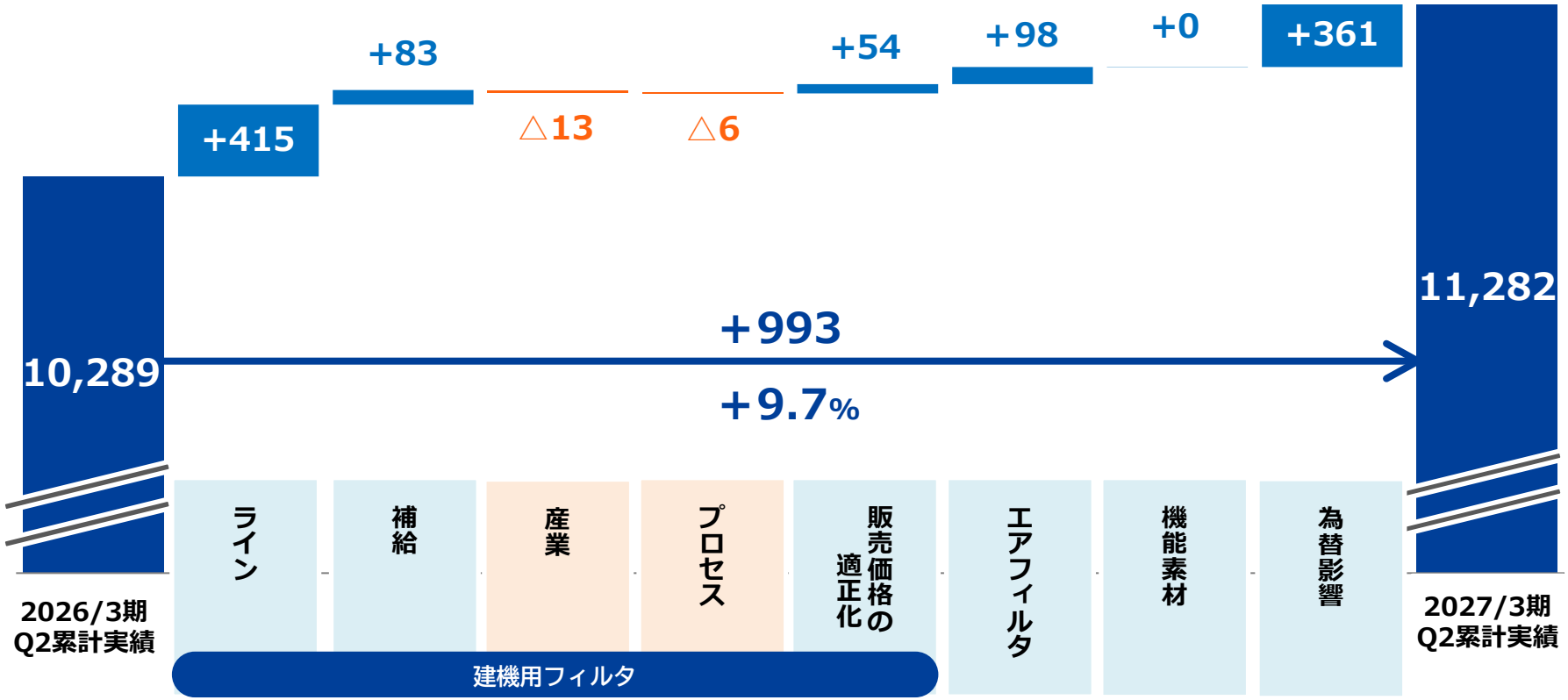
		2026/3期 Q2 累計実績	2027/3期 Q2 累計実績	前年同期比	
		金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ		8,462	9,358	895	10.6%
	ライン品	3,316	3,911	595	17.9%
	補給品	5,145	5,446	300	5.8%
産業用フィルタ		387	376	△11	△2.9%
プロセス用フィルタ		352	363	10	2.9%
建機用フィルタ 合計		9,203	10,097	894	9.7%
エアフィルタ		1,086	1,184	98	9.1%
機能素材		–	0	0	–
売上高合計		10,289	11,282	993	9.7%

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期累計実績（2026/4-9）
売上高増減グラフ（前年同期比）

- 建機用フィルタ事業における新車需要は堅調に推移、補給品需要も回復により大幅な増収
- エアフィルタ事業の受注は回復傾向、直販体制の確立により販売拡大を図る

（単位：百万円）

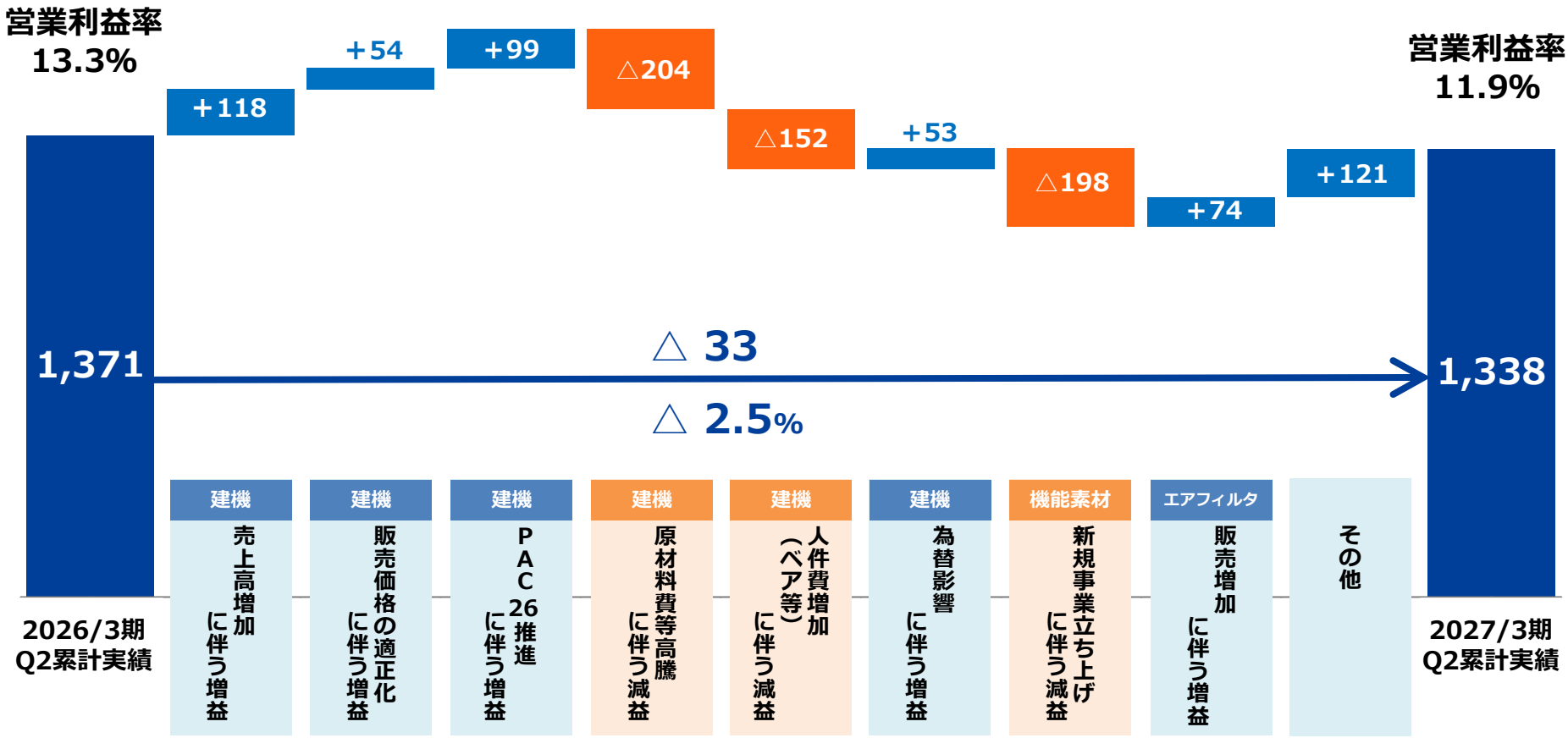


2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期累計実績（2026/4-9）
営業利益増減グラフ（前年同期比）

- 中東情勢を背景にした原材料価格の高騰影響をシェア拡大戦略による販売数量増加等によりカバーし過去最高水準の連結営業利益を達成
- 新規事業立ち上げに伴う先行投資継続により、営業利益の伸長は限定的

（単位：百万円）



2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 通期業績見通し

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）
PLセグメント別（連結、建機、エア、機能素材）

- 中期経営計画は順調に進展、新規事業立ち上げに伴う先行投資・コスト増を見込むが、確定受注残高は３四半期連続過去最高を更新しており、創業以来最高の連結業績を更新見通し
- 2027年3月期見通しは2026年5月発表時から変更なし

		2025/3期 実績	2026/3期 実績	2027/3期 期初予算	前期比
		金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）
売上高		20,104	20,941	22,560	1,618
	建機用フィルタ※	17,489	18,654	20,200	1,545
	エアフィルタ	2,615	2,286	2,330	43
	機能素材	–	–	30	30
営業利益（セグメント利益）		2,630	2,592	2,825	232
	建機用フィルタ※	2,554	2,713	3,190	476
	エアフィルタ	75	△120	5	125
	機能素材	–	–	△370	△370
営業利益率		**13.1%**	**12.4%**	**12.5%**	**0.1Pt**
経常利益		2,669	2,535	2,775	239
経常利益率		**13.3%**	**12.1%**	**12.3%**	**0.2Pt**
当期純利益		1,723	1,718	2,005	286
当期純利益率		**8.6%**	**8.2%**	**8.9%**	**0.7Pt**
為替レート（円）（期中平均値）	USD	152.6	150.8	155.0	―
	EUR	163.8	174.8	180.0	―

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）
売上高（製品別：前期比）

- 新車需要は引き続き堅調に推移し、補給品は第２四半期より回復
- 高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品、補給品ともに増収見通し
- 新規事業である機能素材セグメントにおいては、アパレル分野への製品供給を開始

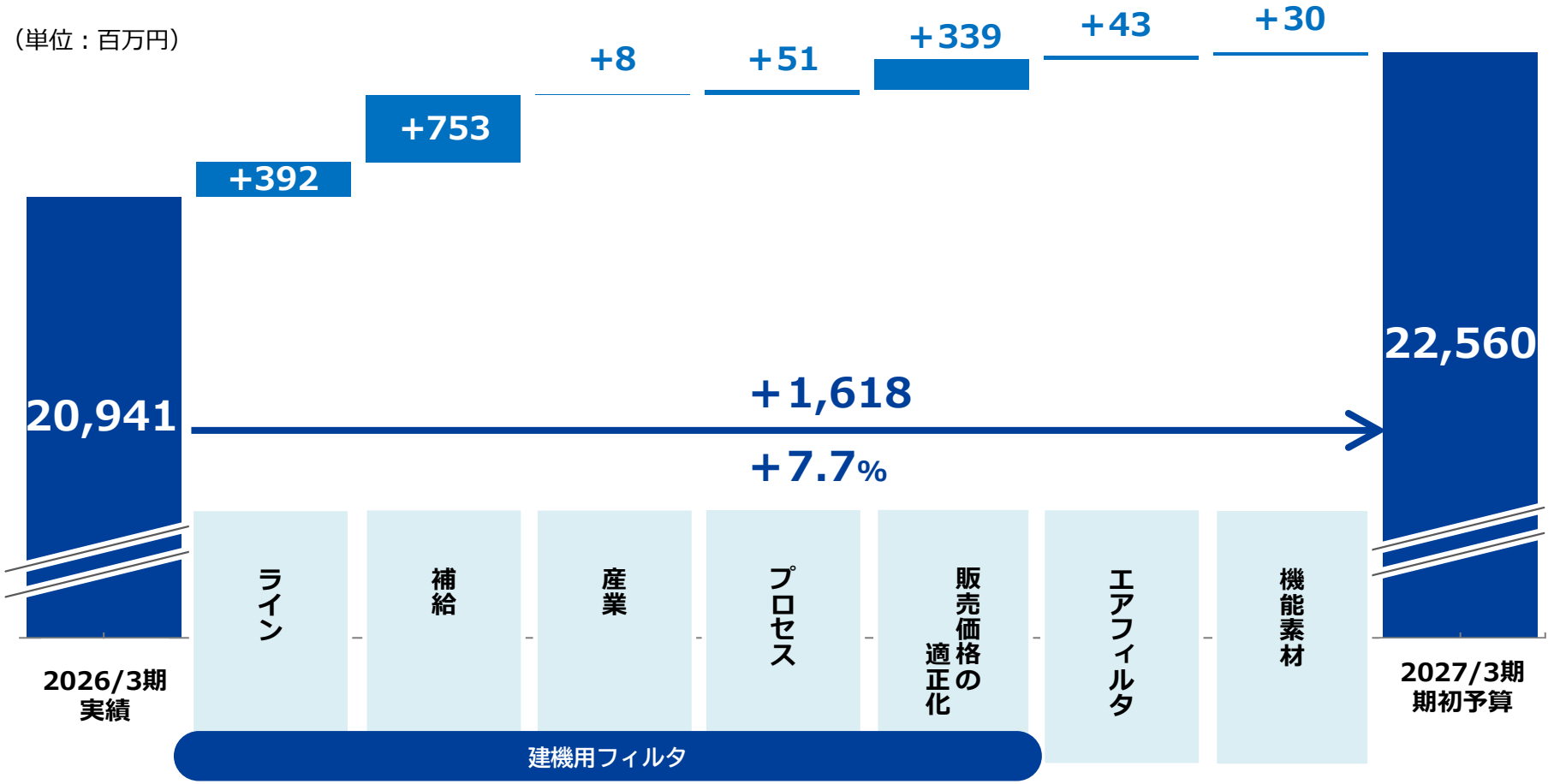
■ 製品別売上高

		2025/3期 実績		2026/3期 実績		2027/3期 期初予算		前期比	
		金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ		16,080	80.0%	17,210	82.2%	18,695	82.9%	1,485	8.6%
	ライン品	5,599	27.9%	6,898	32.9%	7,429	32.9%	531	7.7%
	補給品	10,481	52.1%	10,311	49.2%	11,265	49.9%	953	9.2%
産業用フィルタ		708	3.5%	772	3.7%	781	3.5%	8	1.1%
プロセス用フィルタ		699	3.5%	670	3.2%	722	3.2%	51	7.7%
建機用フィルタ 合計		17,489	87.0%	18,654	89.1%	20,200	89.5%	1,545	8.3%
エアフィルタ		2,615	13.0%	2,286	10.9%	2,330	10.3%	43	1.9%
機能素材		–	–	–	–	30	0.1%	30	–
売上高合計		20,104	100.0%	20,941	100.0%	22,560	100.0%	1,618	7.7%

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）
売上高増減グラフ（前期比）

- 建機用フィルタ事業における新車需要回復や高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品は増収、補給品も北米中心に第２四半期より増加
- エアフィルタ事業においては、基幹システム入れ替えに伴う出荷遅延の影響は沈静化、新規直販体制の強化による収益性の改善を図る

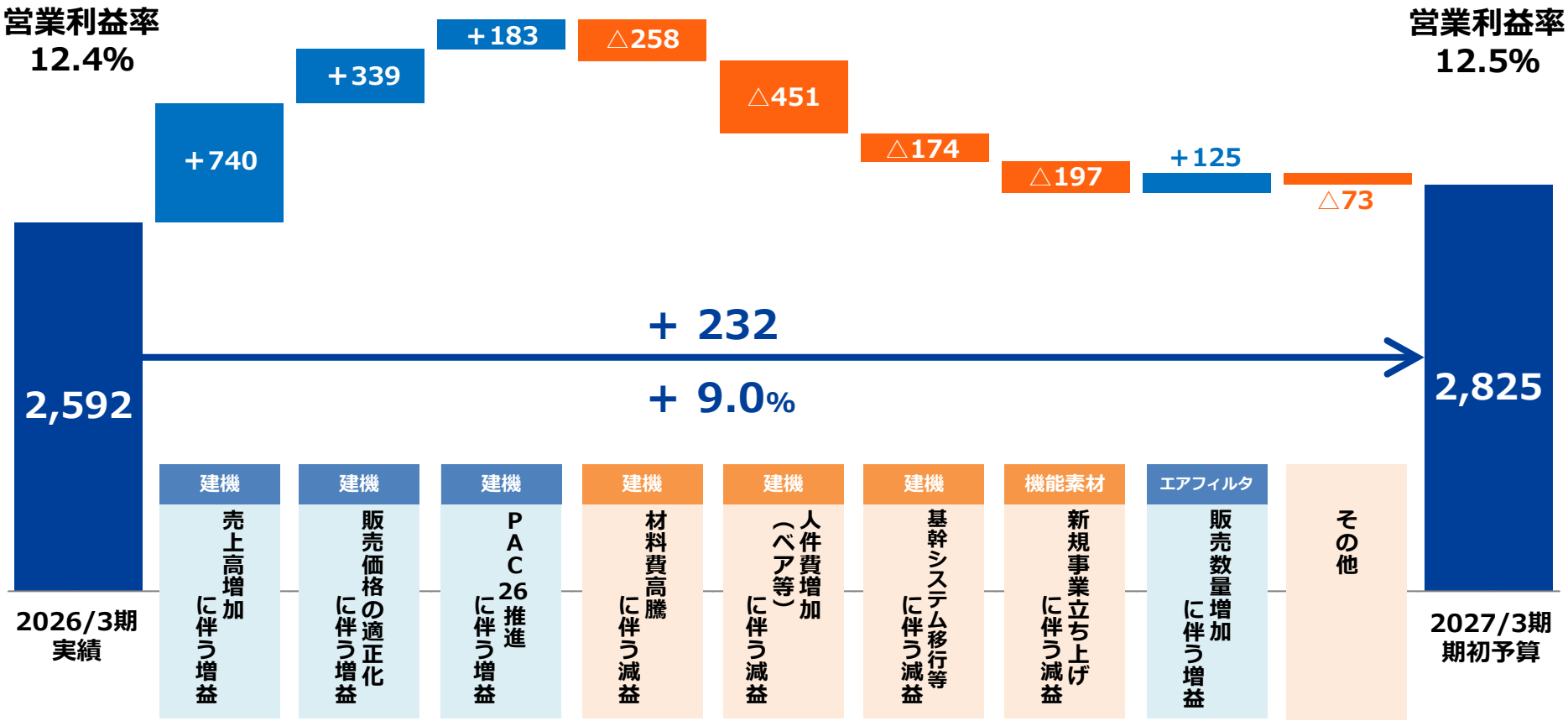


2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）
営業利益増減グラフ（実績比）

◆ 新規事業立ち上げに伴う先行投資・コスト増を販売数量の増加、原価低減により
カバーし、創業以来最高の連結業績を更新見通し

（単位：百万円）



＊ 2026年3月期第2四半期より、海上運賃の増減については売上高の増加に伴う増益に含めて表示しております。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期第2四半期 非財務情報

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

非財務情報
ESG投資指数進捗（FTSE、CDP）

- FTSEスコアは継続して高い水準を維持し、「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄に2年連続で選定されるとともに、「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index 」の構成銘柄に4年連続で選定

2024/3期 実績
- FTSEスコア 2.7
- CDP気候変動
- Bスコア

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
初組み入れ

2025/3期 実績
- FTSEスコア 2.7
- CDP気候変動
- Aスコア

2026/3期 実績
- FTSEスコア 3.8
- CDP気候変動
- Aスコア

2027/3期 実績
- FTSEスコア 3.7
  (26/6 発表)
- CDP気候変動スコアは
  26/11下旬 発表予定

- FTSE JPX Blossom Japan Index
  継続組み入れ
- FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
  継続組み入れ

2028/3期 目標
- FTSEスコア
  4.0以上
- CDP気候変動
  Aスコア

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

市場環境及び中期経営計画の進捗状況

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ市場を取り巻く外部環境

- 地域ごとに濃淡あるも需要は堅調

- 北米市場はデータセンタ建設や関連インフラ投資が牽引して、需要は堅調維持
- アジア市場は資源需要が調整局面ながらも、底堅い需要を維持
- 強い産業及び資源保有の地域に需要が集中する傾向も、総需要は高水準で推移

	2026年3月期	2027年3月期 2Q実績	2027年3月期 見通し
日本	新車需要の回復により前年比増加	公共投資は安定 原価高騰により買い控えも 新車需要は堅調で前年比微増	公共投資は安定 資材、労務費高騰影響により 需要は横ばいを想定
北米	関税・為替の動向は不透明 AIデータセンタ需要 インフラ投資の活発化により 前年比増加	AIデータセンタ需要増により 新車、アフターマーケット需要は好調 により前年比増	AIデータセンタ需要増により 関連インフラ投資も順調推移 新車、アフターマーケット需要は好調
欧州	主要国の需要減により アフターマーケットは 前年比減少	中東情勢の長期化懸念による 得意先の在庫保有高増より前年比増	環境規制に伴う買い替え需要増により 新車需要は回復基調
アジア	インドネシアにおける 資源価格の低迷により アフターマーケットは前年比減少	インドネシア顧客の 在庫削減が一巡して、オーダー回復 前年比増	インドネシア政府の取り決める 採掘量制限はあるものの、 底堅い需要あり
中国	不動産市況は低迷するも 鉱山機械の新車需要の増加により 前年比増加	不動産市況の低迷は継続 鉱山機械の新車需要は増加傾向 前年比増	不動産市況の低迷は継続 鉱山機械の新車需要は堅調維持

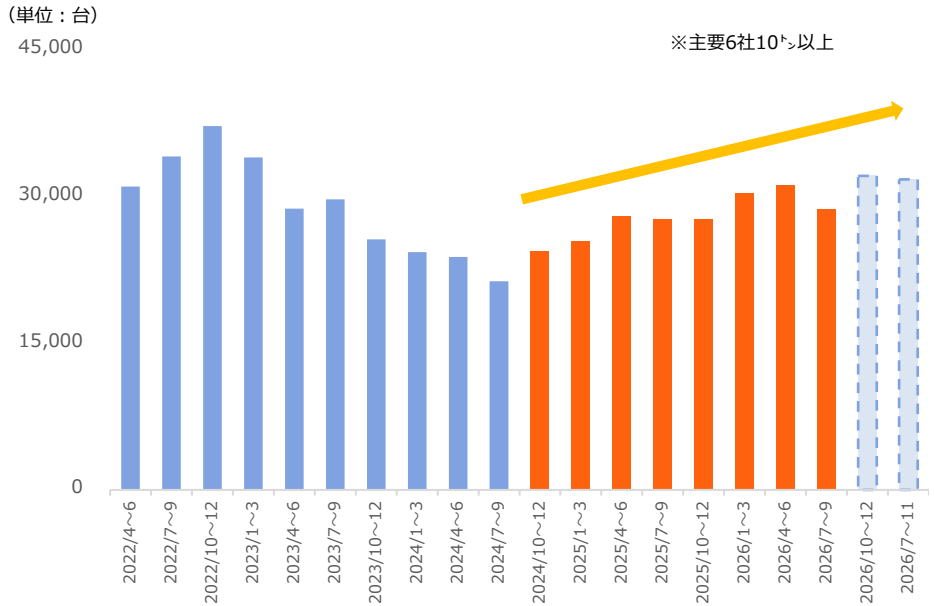
2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ市場の需要動向
- 受注は過去最高、需要は堅調を維持

- 生産台数の実績及び今期最新計画では、新車の増加傾向は継続する見通し
- 確定受注残高は、３四半期連続過去最高を更新
- 北米市場を牽引役に、ライン品・補給品の売上は四半期推移で順調に成長

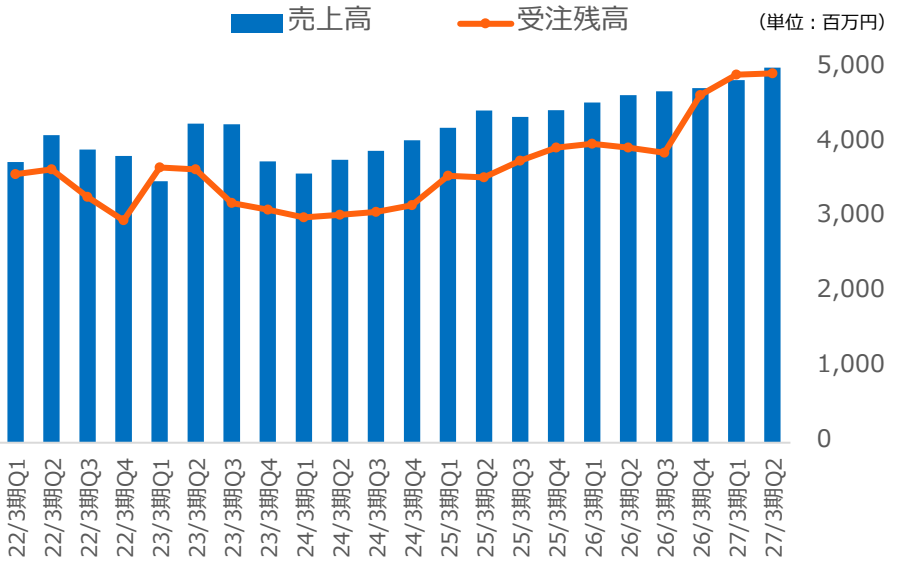
主要建機メーカー合計生産実績（四半期推移）

四半期ごとに強弱はあるが
年間を通して生産は高水準を見込む



建機用フィルタ売上高と確定受注残高（四半期推移）

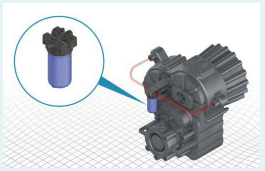
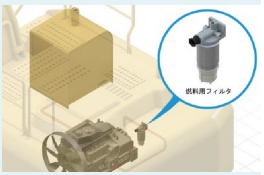
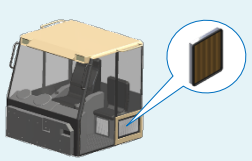
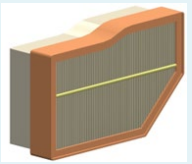
堅調な需要を背景に
受注残高は３四半期連続過去最高更新



2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ：シェア拡大戦略の進捗

- 主力製品群の油圧用フィルタで新機種導入が進展して、シェアは順調に拡大
- 新規製品のシェア獲得戦略も計画通りに進捗中

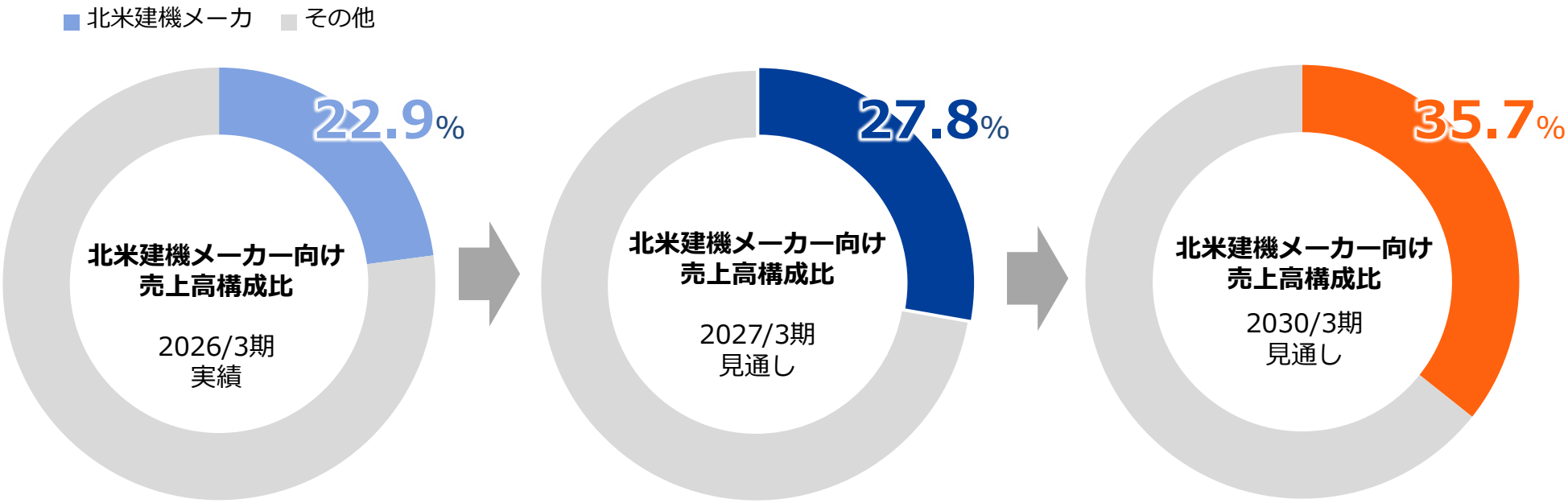
製品 / 顧客	※油圧用フィルタ	トランスミッション用フィルタ	燃料用フィルタ	キャビン用フィルタ	エンジンオイル用フィルタ	エンジン用エアフィルタ
						
A社	◎	△	◎	◎	△	△
B社	◎	◎	△	△	△	△
C社	○	△	△	△	△	△
D社	◎	-	△	△	△	△
E社	◎	△	△	△	△	△

◎：シェア80.0%以上、○：シェア50.0%以上80%未満、△：シェア50%未満
※油圧用フィルタは、油圧ショベル、ホイールローダー、ブルドーザー、ダンプトラック、モーターグレーダー、クローラクレーン等の機種に搭載
※2024年11月に発表した中期経営計画から、集計対象機種を見直したため、表内のシェア表示が変更になっております。
※色付け部分はシェアの上昇を示す。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ：シェア拡大戦略の進捗

- 品質・コスト・安定供給性など、全てのKPIで高いスコアを達成
- 切替案件の引き合いも多数あり、複数プロジェクトが現在進行中
- 油圧用フィルタを中心にシェア獲得が進み、中期経営計画目標は順調に進捗



実施施策	多様な顧客接点×技術シーズによる高付加価値製品の提案	→	新規製品の採用獲得

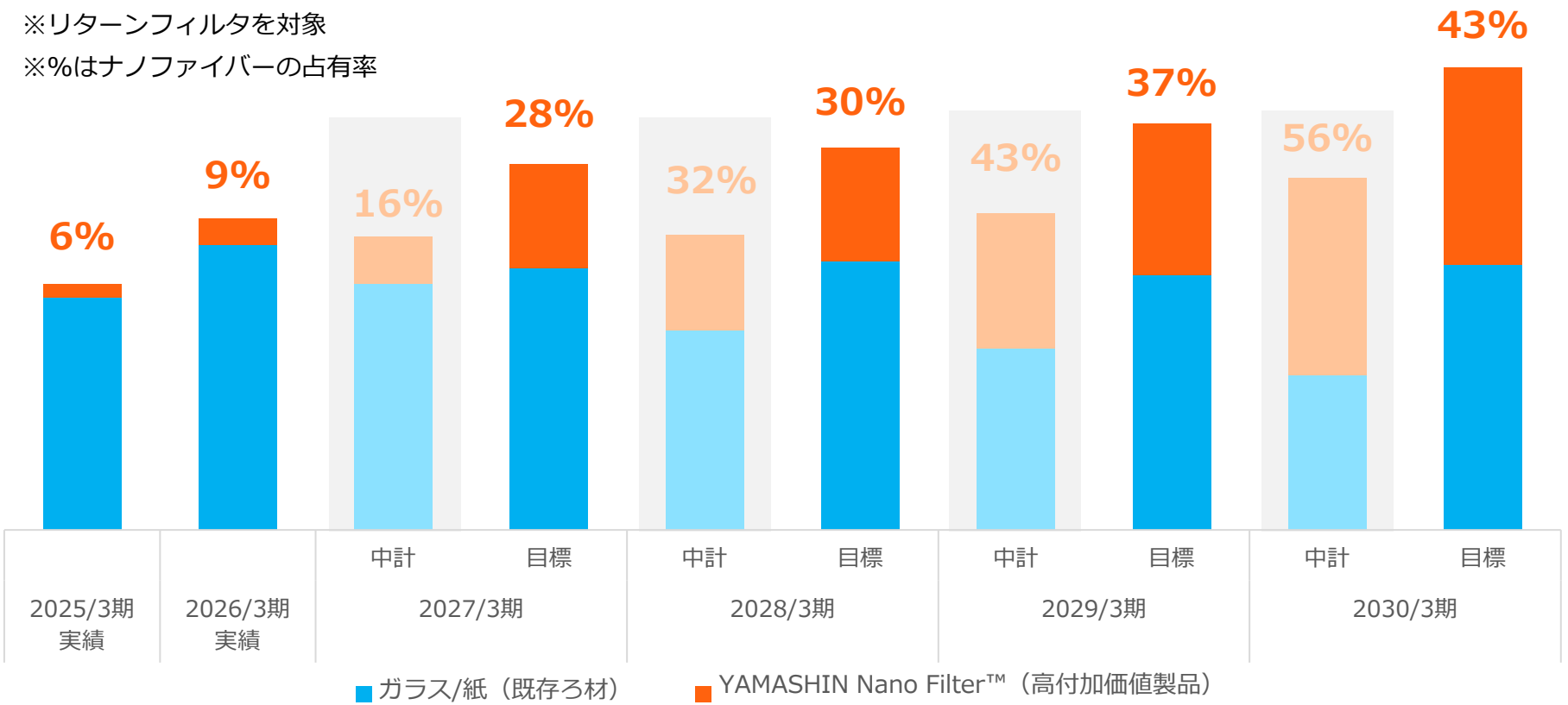
2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ：高付加価値製品の導入進捗

- 当社提案のロングライフ化がトレンドを作り、ナノ素材へ切り替えが進展
- フィルタ需要の高まりから、既存ろ材も含めて全体的に物量が増加傾向
- ナノ素材の占有率は計画を下回るも、数量面では大幅に上回る見通しで推移

ナノファイバー製品の売上高見通し

※リターンフィルタを対象
※%はナノファイバーの占有率



2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ：アフターマーケット活動の進捗

- アジア地域におけるアフターマーケット市場で、確固たる顧客リレーションを確立
- 市場台数の多い欧州市場においても、収益機会の最大化に取り組む

アフターマーケット向け啓蒙活動への評価（アジア）

Komatsu India Private Limited（KIPL）様より表彰



受賞理由

コマツグループにおけるインド拠点として、建設機械の製造販売、サービス、補給部品を提供しているKIPL様より、一昨年の納期対応に対するアワード受賞に続き2度目の受賞となりました。今回は、当社の純正品啓蒙活動および販売促進への貢献、特に新たなコンテンツの提供やサポート体制が評価され、また今後の継続的なサポートを期待されての受賞となりました。

スタッフトレーニング（欧州）



参加背景・成果

2026年9月24日、欧州コマツ（Komatsu Europe International、以下KEISA）の本社にて、対面14名、Web17名の計31名を対象にスタッフトレーニングを実施しました。実際のフィルタに触れていただくとともに、フィルタメディアを用いた実演では、ろ過効率の違いを視覚的に確認できる点について高い評価をいただきました。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

エアフィルタ事業：事業環境

- 主力のビル・建物市場では、潜在的な更新需要は活発な動き
- ビルのメンテ人材不足や資材高騰が制約になるが、フィルタ需要は堅調を維持
- 工場設備などの需要は安定推移、半導体工場の需要が急増回復の傾向

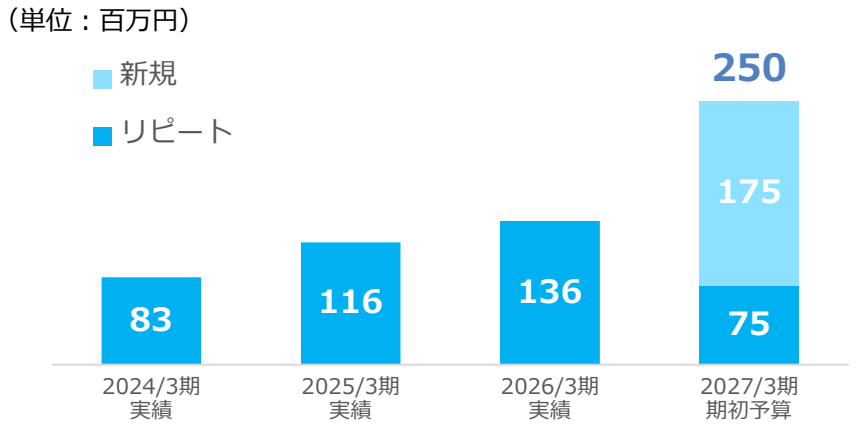
	市場概要	市場環境	
		27/3月期 Q2実績	27/3月期 見通し
ビル･建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	再開発プロジェクトを背景に新設だけでなく、更新需要が増加。	更新需要は増加しているがメンテナンス人員不足、資材費高騰の買い控えにより底堅く推移。
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	新年度に入り新予算に移行、保守計画が通常サイクルに戻っている。	現場環境の改善ニーズは高いが業界によって投資タイミングにギャップあり。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	新築ラッシュは落ち着き、想定どおり今期から稼働局面に移行。	AIデータセンタを起点として、新築需要は急激に回復。
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	人口減少につき需要減退は継続。住宅の高付加価値化が進む。	人口減少につき需要減退は継続。住宅の高付加価値化が進むが、需要は一巡。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	交換需要は堅調を維持。新幹線の増便により増加傾向。次世代高速鉄道用の部品は時間がかかるが量産見通し。	交換需要は堅調維持。アジア向けで新機種導入のため今後の需要増を見込む。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

エアフィルタ事業： BtoB直販強化

- BtoB直販体制の営業活動は、昨年を超える売上を達成見込み
- 地方都市の再開発需要を捉えた営業活動を推進して、新規顧客の獲得に成功

BtoB直販領域における実績と計画



販売エリアの開拓・拡大

- 九州地方の有力なビルや工場のオーナーへ直接販売。
- 地方の大規模再開発プロジェクトを取り込み、新規顧客を獲得。
- 今後も中国・九州地方を中心に販売エリアを拡大予定。

有望分野に対するアプローチ

生産工程分野



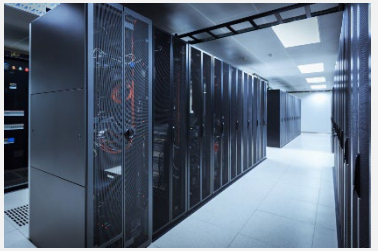
製薬メーカー

製薬品質に関わる工程で空調コントロールするために採用。

主な取り組み

有害ガス除去の実機試験を依頼元と共同で進めながら、データ収集と新製品開発に尽力。試験は完了し、2026年中の市場投入を目指し進捗中。

産業機器分野



AIデータセンタ関連

半導体関連では主にHEPAフィルタとケミカルフィルタが採用される。現在は当社のケミカルフィルタが多く採用。

主な取り組み

●MERV14※を有する高付加価値製品であるNanoWHELPを積極的に提案し受注確度の向上を図る。

※米国のエアフィルタの規格（ASHRAE52.2)で、数字が大きいほど粒子の捕集率が高い

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

YAMASHIN FILTER VISION 2030 の進捗
– 機能素材事業

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新規事業における基本戦略

- YAMASHIN FILTER VISION 2030で提示した、重点市場の製品開発は進捗中
- 市場ごとに業界や顧客が異なるために工数はかかるが、着実にリーチ先を拡大中

ナノファイバー素材の活用による新規事業（機能素材事業）のパイプラインイメージ（2026年11月時点）

重点戦略と取り組み

市場領域			上市イメージ
① 機能テキスタイル	市場	アパレル 防火服	アパレル：第1弾 2025年11月～／第2弾 28/3期 1Q～ 防火服（薄型高機能中綿）：29/3期 1Q～
	製品	薄型高機能中綿	
② ライフサイエンス	市場	生体センサー	生体センサー：27/3期 4Q～
	製品	高精度の電極	
③ 産業資材	市場	断熱絶縁 EMIシールド	EMIシールド：29/3期 1Q～
	製品	次世代防護材	

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

機能素材事業：機能テキスタイル分野



扱いやすさと性能を、さらに進化させた画期的な次世代シート中綿

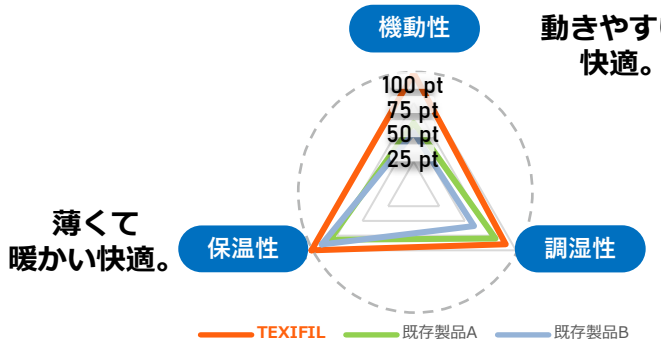
TEXIFIL Zero

想定市場領域（機能性中綿）

衣料・アパレル領域

その他想定領域
寝具
インテリア材
シューズ材

TEXIFIL シリーズの特徴



新シリーズのポイント

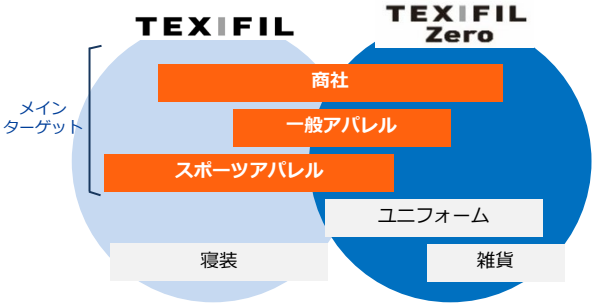
既存シリーズからさらに進化！

- 引っ張り強度が向上
- 縫製時の利便性が向上
- 「保湿性」が向上
- これまでの価格から低減



マーケティング・営業活動

目標　TEXIFIL28年秋冬向け受注獲得を目指し、TEXIFIL Zeroを通じて客先との関係を構築



TEXIFILとTEXIFIL Zeroそれぞれの特性から鑑みて、顧客となる**メインターゲット**を設定。タッチポイントの創出に向けた営業施策を実施。

直近の活動



FaW TOKYO ファッションワールド 東京 秋

国内外704社が集まる日本最大級のアパレル向け展示会に出展。

ターゲット先の選定

69/216件

展示会にて計216社と接触し、69社をメインターゲットとして選定し商談を進行中。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

機能素材事業：ライフサイエンス分野

ゲルを使わない乾式不織布電極の実用化に向け研究開発が順調に進捗

想定市場領域（生体センサー）

心電領域

その他想定領域
スポーツ用心電計
腹筋トレーニング機器
など

当社が目指す生体センサーの特徴



薄い
軽い
通気性

薄くて・軽いナノファイバー素材の特性に機能を付加、皮膚への密着性ゲルを使わない乾式不織布電極の研究開発に着手。まずは心電計へ応用を目指す。

比較項目	ゲル電極	当社製品
コスト	○	◎
通気性（ガーレ）	×	○
重量	△	○
加工性	△	◎
長期保管	△	○

研究開発・生産

進捗 外部研究機関による心電信号テストをクリア
同時進行で2026年度末に量産準備を完了予定

MITSUFUJI
繊維への独自加工技術と実績

The Specialist in Filtration YAMASHIN
ナノファイバー技術

研究開発の状況

第三者研究機関による心電図信号テストを実施しプロトタイプの基本性能はクリア。課題を元に、今後は長時間装着・体動時の信号安定性、皮膚への影響、製造条件などを評価し、実用化に向けた開発を進める。

第三者研究機関

STEP.1
Clear!
銀電極を使用した既存製品と同等レベルの心電信号を取得。

Next STEP
Challenge
長時間装着・体動時の信号安定性や皮膚への負担など、実使用条件での検証を予定。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

機能素材事業：産業資材分野（EMIシールド材）



ナノファイバー技術と導電化技術の融合により省金属で高い電磁波シールド性能を実現

想定市場領域（電磁波シールド）

データセンターなど

その他想定領域
自動車内装材
電子製品材

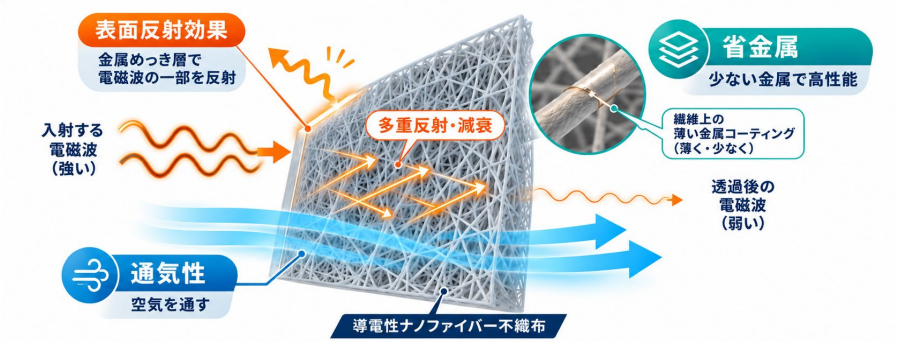
当社が目指すEMIシールドの特徴

導電性を付与したナノファイバー不織布により、電磁波シールド性能を実現

通気性 電磁波シールド性能と優れた通気性を両立し、電磁波対策と電子機器の排熱の両立を目指す

シールド性 高比表面積＋緻密構造によって高い遮断性

省金属化 少ない金属付着量で高い電磁波シールド効果を確認



マーケティング・営業活動

進捗 2027年 年明けから営業活動を本格化

MITSUFUJI 繊維への独自加工技術と実績 × The Specialist in Filtration YAMASHIN ナノファイバー技術



2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

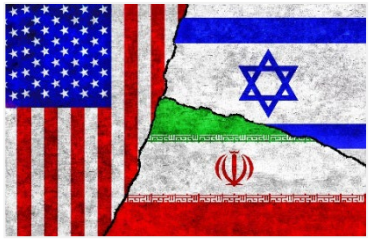
参考情報
－2027年３月期 第２四半期

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年3月期見通し
国際情勢に関連する当社の影響と対応

- 中東情勢を背景にした原材料価格の高騰影響が想定を上回る水準で推移
- 2026年7月に発表された通商法301条に基づく関税の影響も軽微の見通し

建機用フィルタビジネスにおける中東情勢 想定リスク



影響の可能性がある分野

製造/輸送

製造拠点

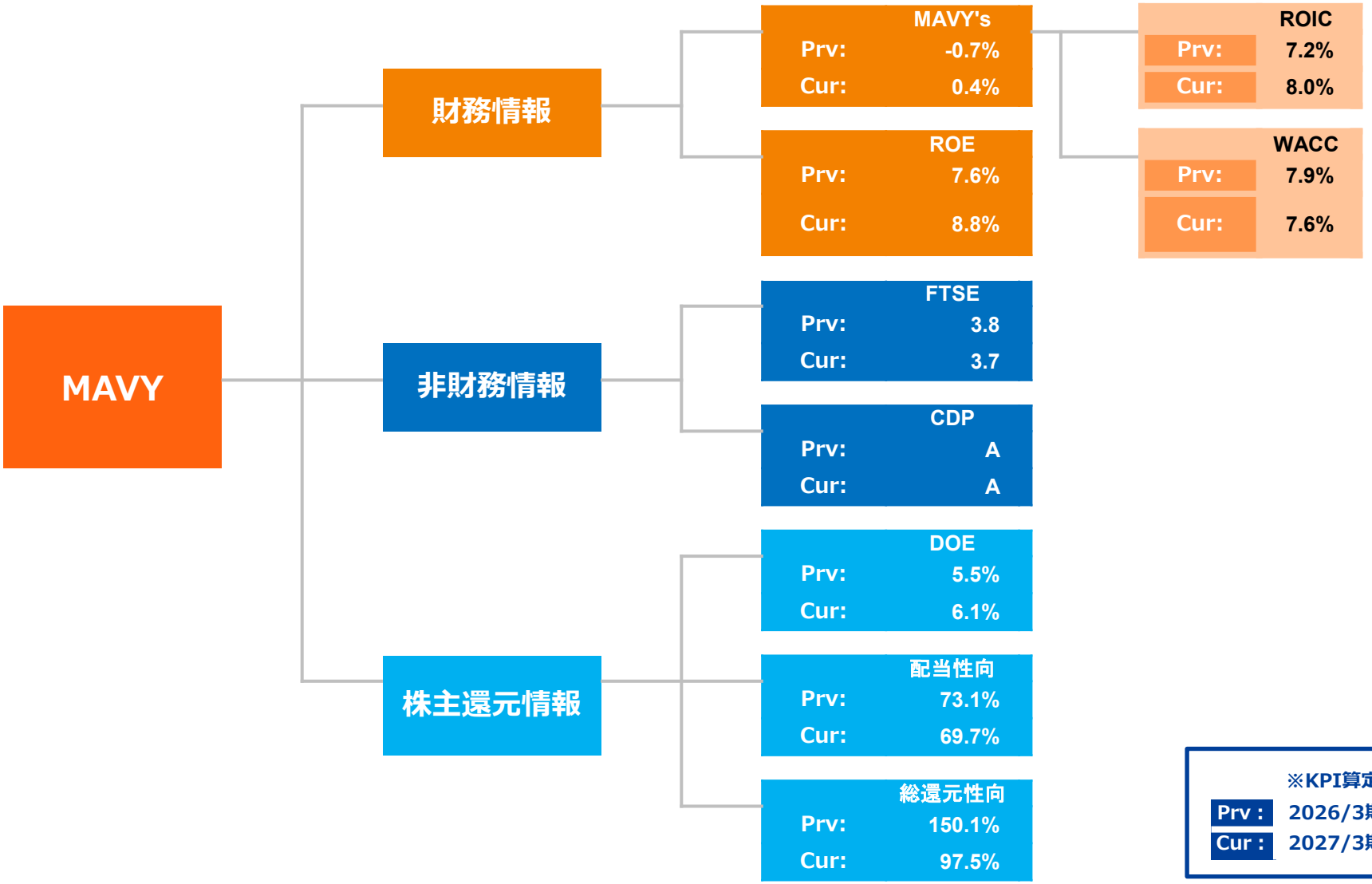
日本　フィリピン　ベトナム



想定リスク		対象拠点	影響度	想定影響額	対応策
生産	・原材料価格高騰 ・物流費高騰 原材料調達遅延 製品出荷遅延 ・工場稼働リスク	日本 フィリピン ベトナム	小	原材料価格 高騰影響あり	サプライチェーン見直し 原材料在庫保有増加 （+1か月分程度） 製品在庫保有増加 （+1か月分程度） 価格転嫁
営業	製品出荷	日本 アメリカ ベルギー タイ 中国	小	軽微	サプライチェーン見直し 製品在庫保有増加 （+1か月分程度）

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

目指すべき定量目標（連結）



※KPI算定の前提
Prv : 2026/3期 実績
Cur : 2027/3期 期初予算

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

目指すべき定量目標（建機用フィルタ）

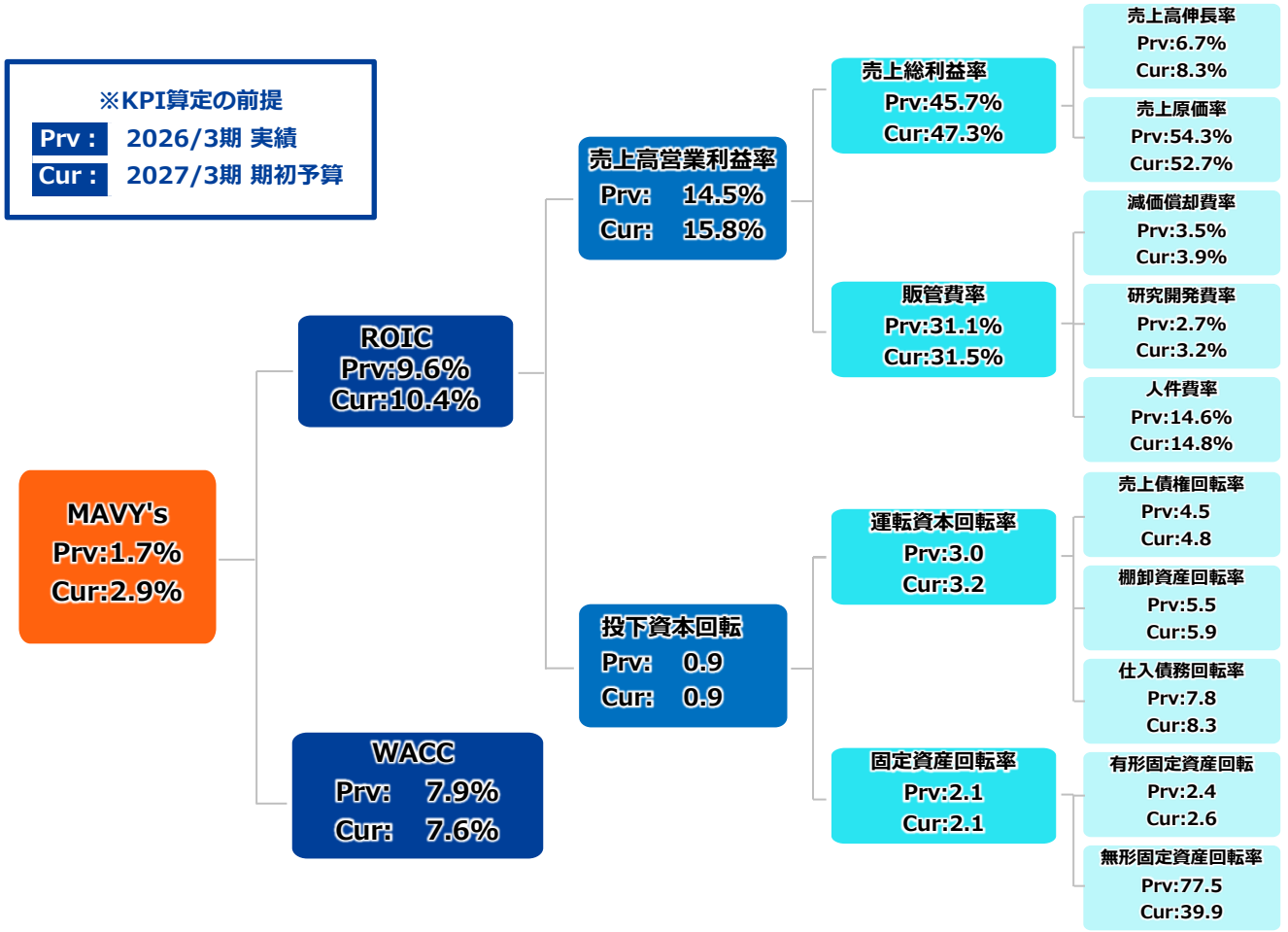
The Specialist in Filtration YAMASHIN

1 3軸によるシェア拡大（顧客軸・技術軸・地域軸）

2 高付加価値製品

3 アフターマーケット市場の進化

※KPI算定の前提
Prv : 2026/3期 実績
Cur : 2027/3期 期初予算



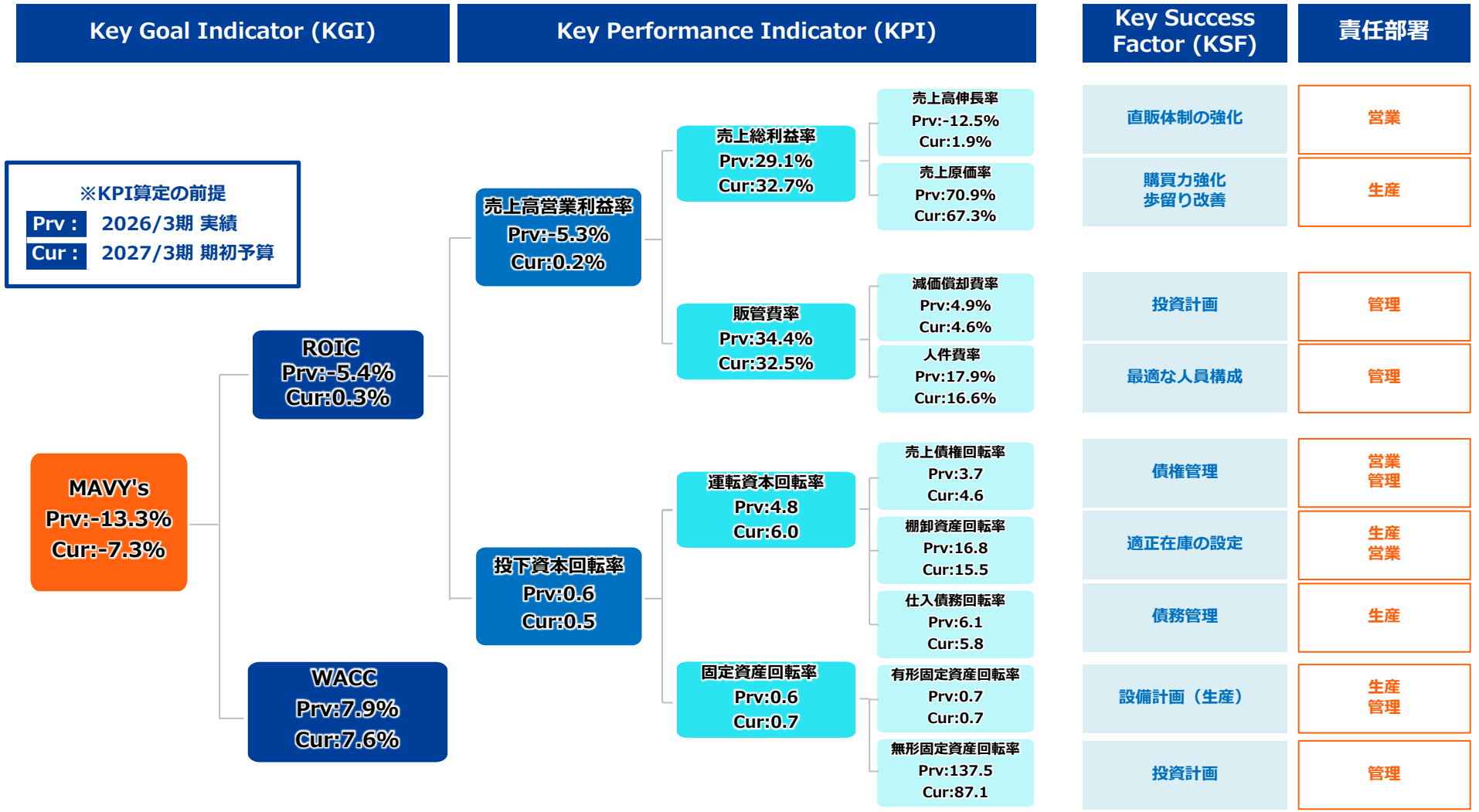
Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署
	売上高伸長率 Prv:6.7% Cur:8.3%	新製品開発 純正率向上	営業・開発
	売上原価率 Prv:54.3% Cur:52.7%	購買力強化 歩留り改善	生産
	減価償却費率 Prv:3.5% Cur:3.9%	投資計画	経営企画 財務・管理
	研究開発費率 Prv:2.7% Cur:3.2%	テーマの絞り込み 優先順位	開発
	人件費率 Prv:14.6% Cur:14.8%	最適な人員構成	人事・総務
	売上債権回転率 Prv:4.5 Cur:4.8	債権管理	営業 財務・経理
	棚卸資産回転率 Prv:5.5 Cur:5.9	適正在庫の設定	生産 営業
	仕入債務回転率 Prv:7.8 Cur:8.3	債務管理	生産
	有形固定資産回転 Prv:2.4 Cur:2.6	設備計画（R&D・生産）	経営企画 総務・生産・開発
	無形固定資産回転率 Prv:77.5 Cur:39.9	投資計画	経営企画 財務・経理

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

目指すべき定量目標（エアフィルタ）

1 新商流の開拓（BtoB）

2 高付加価値製品（PFAS・PFOSフリー、CO2、消費電力削減）



2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期第２四半期実績（2026/7-9）
売上高（地域別）

◆ 北米におけるAIデータセンタ需要を背景に新車需要は増加、補給品需要も回復傾向

■ 地域別売上高

	2026/3期 Q2 実績		2027/3期 Q2 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	4,647	89.5%	5,247	89.3%	600	12.9%
国内	1,773	34.2%	1,946	33.1%	172	9.7%
北米・南米	1,189	22.9%	1,389	23.6%	200	16.9%
中国	443	8.5%	454	7.7%	11	2.5%
アジア	728	14.0%	793	13.5%	64	8.9%
欧州	479	9.2%	560	9.5%	80	16.8%
その他（中東他）	32	0.6%	102	1.7%	69	216.4%
エアフィルタ（国内）	546	10.5%	629	10.7%	83	15.2%
機能素材（国内）	–	–	0	0.0%	0	–
売上高合計	5,193	100.0%	5,877	100.0%	683	13.2%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。
＊ 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。
＊ 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年３月期 第２四半期累計実績（2026/4-9）
売上高（地域別）

◆ 北米におけるAIデータセンタ需要を背景に新車需要は増加、補給品需要も回復傾向

■ 地域別売上高

	2026/3期 Q2 実績		2027/3期 Q2 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	9,203	89.4%	10,097	89.5%	894	9.7%
国内	3,508	34.1%	3,760	33.3%	252	7.2%
北米・南米	2,269	22.1%	2,497	22.1%	227	10.0%
中国	846	8.2%	925	8.2%	79	9.4%
アジア	1,592	15.5%	1,746	15.5%	153	9.7%
欧州	929	9.0%	1,065	9.4%	136	14.7%
その他（中東他）	57	0.6%	101	0.9%	44	77.8%
エアフィルタ（国内）	1,086	10.6%	1,184	10.5%	98	9.1%
機能素材（国内）	–	–	0	0.0%	0	–
売上高合計	10,289	100.0%	11,282	100.0%	993	9.7%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。
＊ 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。
＊ 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

2027年3月期見通し（2026/4-2027/3）
売上高（地域別：前期比）

◆ 北米市場におけるAIデータセンタ需要増、活発なインフラ投資を中心に、各市場における需要は堅調に推移する見通し

■ 地域別売上高

	2025/3期 実績		2026/3期 実績		2027/3期 期初予算		前期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	17,489	87.0%	18,654	89.1%	20,200	89.5%	1,545	8.3%
国内	6,900	34.3%	7,027	33.6%	7,335	32.5%	308	4.4%
北米・南米	4,597	22.9%	5,014	23.9%	5,652	25.1%	637	12.7%
中国	1,246	6.2%	1,667	8.0%	2,184	9.7%	516	31.0%
アジア	2,670	13.3%	2,906	13.9%	2,992	13.3%	85	2.9%
欧州	2,073	10.3%	1,937	9.3%	1,946	8.6%	8	0.4%
その他（中東他）	—	—	100	0.5%	89	0.4%	△11	△11.2%
エアフィルタ（国内）	2,615	13.0%	2,286	10.9%	2,330	10.3%	43	1.9%
機能素材（国内）	—	—	—	—	30	0.1%	30	—
売上高合計	20,104	100.0%	20,941	100.0%	22,560	100.0%	1,618	7.7%

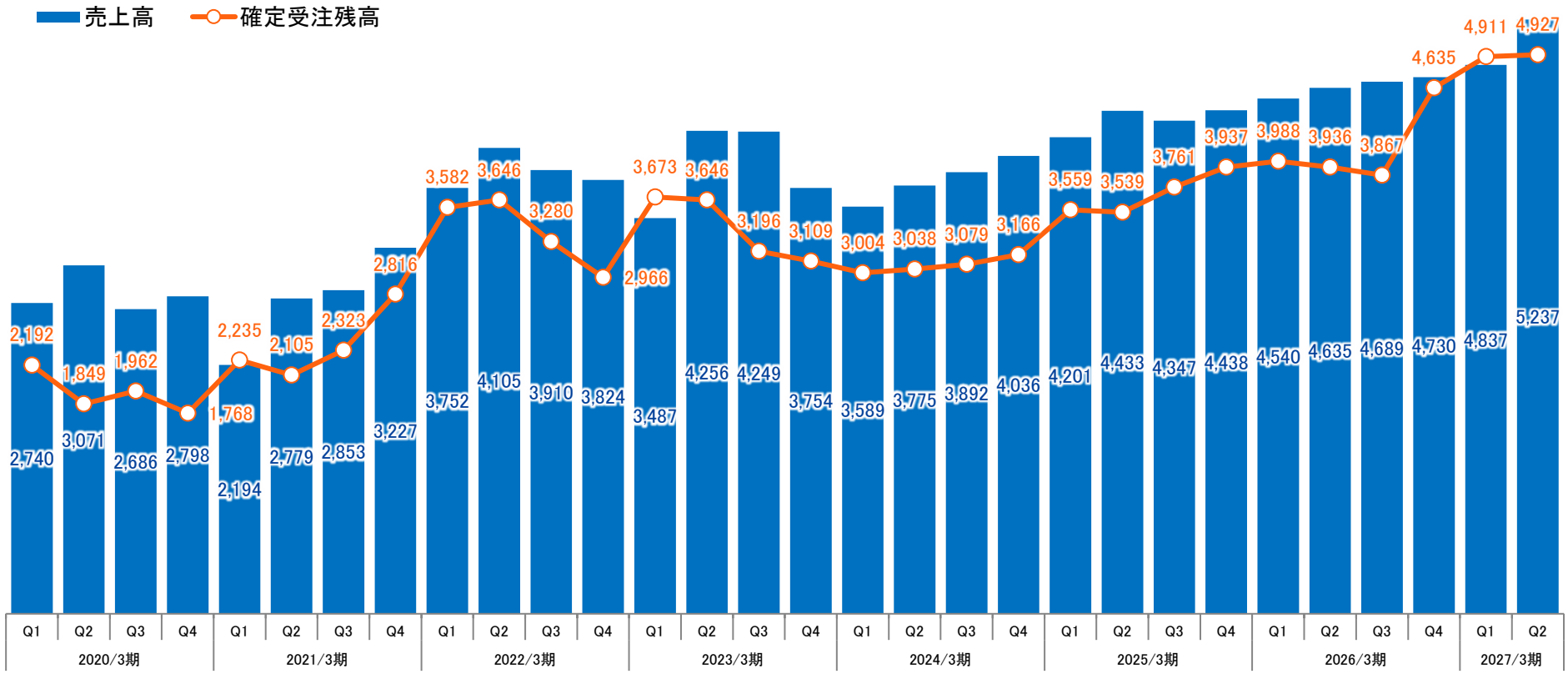
※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。
＊ 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。
＊ 従来「その他」に区分されていた南米に「北米」を加え「北米・南米」として集計しております。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

確定受注残高と売上高の推移（建機用フィルタビジネス）

- 堅調な外部環境を背景に、北米市場におけるシェア拡大戦略、高付加価値製品の供給拡大戦略が功を奏し、2027年３月期第２四半期の確定受注残は過去最高水準を更新

（単位：百万円）

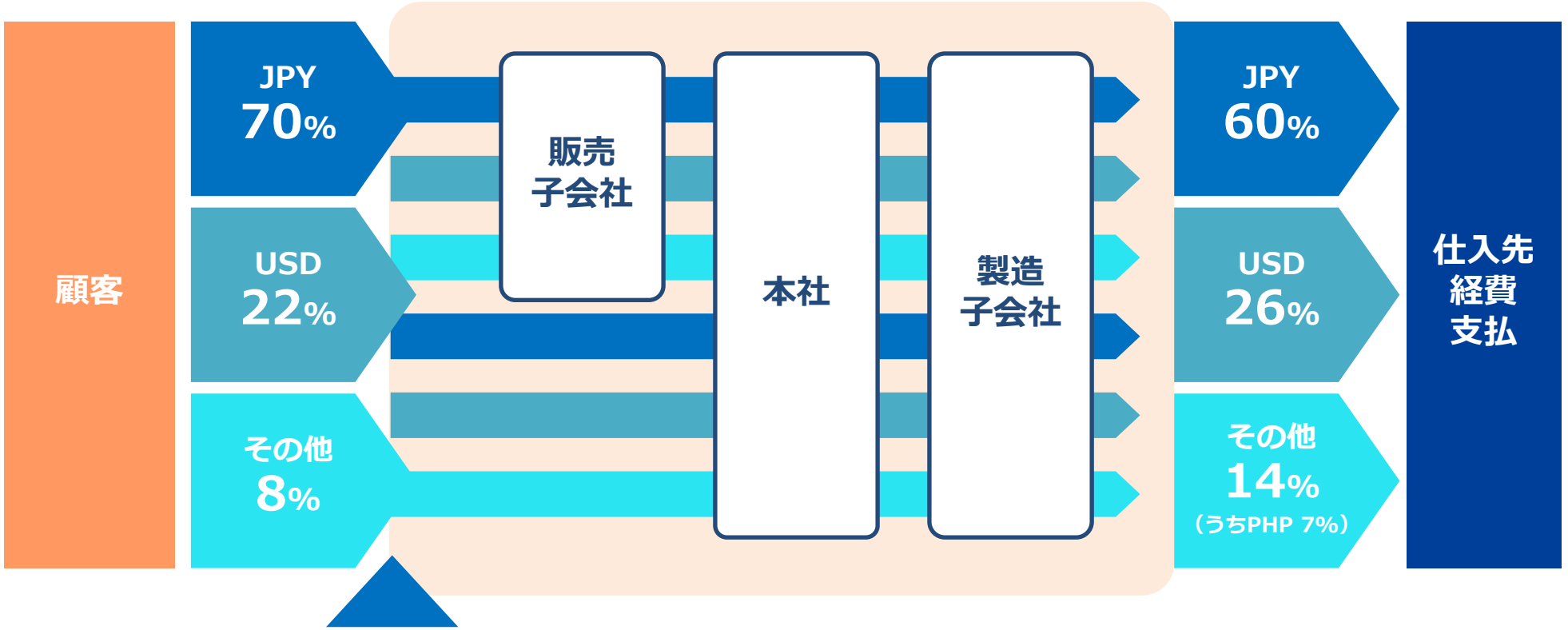


※ 売上高にはヘルスケア売上を含めておりません。

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

為替マリーの状況（2026/4-９）

◆ 為替感応度は0.17%、営業利益への影響額は軽微



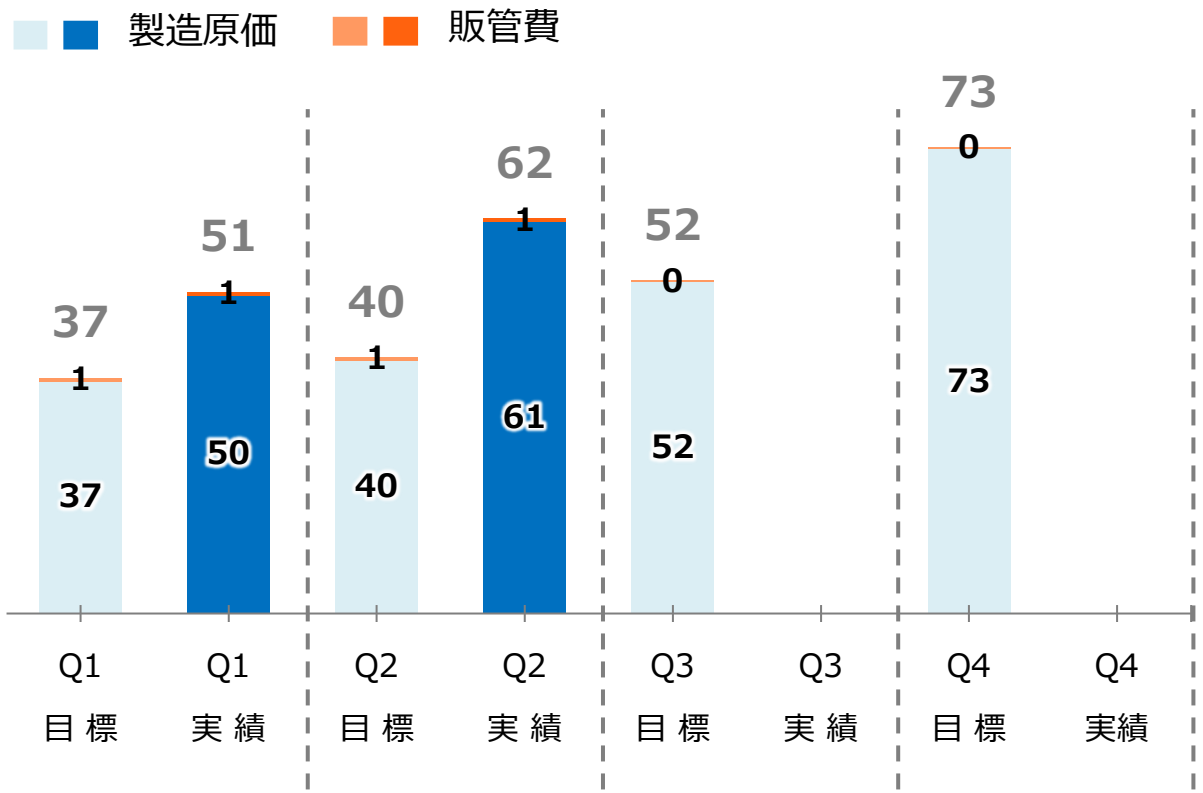
取引通貨の約7割はＪＰＹ

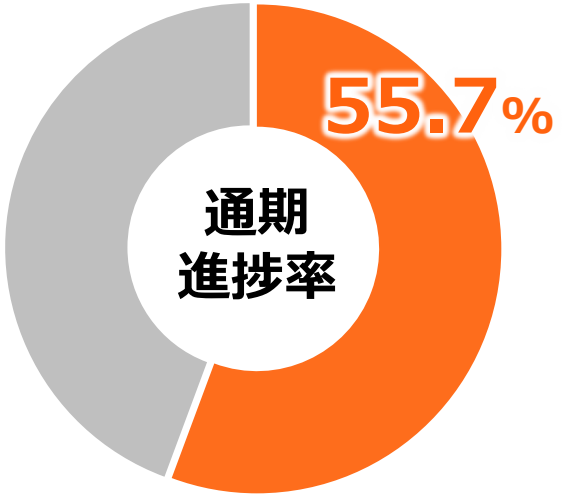
2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

PAC26 （2026/4-2027/3）

◆ PAC26の取組みは着実に進展

■ 進捗状況（前期比）
（単位：百万円）





単位｜百万円		通期目標	通期実績
PAC26	製造原価	201	112
	販管費	2	1
合　計		203	113

2026 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

The Specialist in Filtration
YAMASHIN

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 コーポレートコミュニケーション部IR課 まで

TEL 045-680-1680 E-mail ir@yamashin-filter.co.jp